



発行所 磐城日日新聞社
印刷の御用命は 長瀬印刷所

サンマ業者最後の大会 はらはら二十日出漁か

決意語る三代組合長

十日午後一時より平市水産事務所で開催された當地サンマ業者最後のサンマ大会は結局左の如き結論に達し午後五時散会した。本月十九日開盆に於て開催される全国サンマ大会の席上於て農林省水産廳より出漁を発表するが九月二十日解禁を予測して出漁準備は整えておくこと。二、九月二十日が若し二十五日か或は十月一日となつた場合は關東北業者は斷固自由出漁を断せずとの決意を示した。右に關し三代小名濱漁業協同組合長は。もし當局が九月二十日案を認めずれば当然關東北業者の決意に基いて同調するより外なく、北海道業者が内地漁船の入会拒否を強硬に申入れたという事實もあり、とにかく十九日の最後通牒が我々サンマ業者にも重大な問題となる譯だと語つた。

江名も自警廢止

投票者は何と二割七分

江名町議會は去月十一日、をみることになつた結果の定例町會に於て自警存 十日住民投票を行つたが廢止に對する投票を行つた 出足頗る低調で投票率は結果二十対三にて廢止す 三七、一、また投票數にることになり住民の發否 於ける廢止は七六、三の投票によつて最後の決定 壓倒的であつた。

追放解除祝賀會

古川傳一氏の挨拶要旨

元大政翼賛會支部長、植田町協力會會長などの職にあつたため追放の憂目を見た古川傳一氏は去る八月六日の個人審査で解除となつた。植田町有志は六年間の憂さを拭拂して再出發の門出を祝すべく追放組を公民館に招待して祝賀會を開催した。その席上古川氏は感謝の辭を次のように述べられた。當時の横暴は、無謀なる國是を制定し、

印刷の御用命は 長瀬印刷所
小名濱町水産事務所
電話 219番

内郷各校の秋季運動會

内郷町内各学校の秋季運動會日程は次の通り決定した。

泉村民生委員會

保護費及び事務の打合

泉村では十日午後一時、泉村民生委員會保護費及び事務の打合會を開き、三瓶村長より事務担当湯本新衛書記、財務課長に轉職のため今日までの経過報告、後任安島貞藏社會課長に事務引継ぎをなしたことを報告委員の承認を得た。次いで縣三郡社會課社司兒童委員長本多忠見氏の民生委員のあり方に付いての説明あり、議案に入

湯本の婦人大會

市川房枝女史も来る

文部省主催、縣教育委員會事務局、湯本町後援の全國婦人担当者研究大會は来る十九日から二十一日まで四日間湯本町公民館に於て開催されるが當日は全國各縣代表七十余名が参集して「婦人教育の現況と今後の生活改善運動とその指導」について協議をする。

宮小學校の子供銀行

内郷町宮小學校では昭和二十四年九月に子供銀行を開設して以來中島先生を始め各先生の指導によつて六年生の委員が運営に当たつてきたが預金額も二十三萬を突破する有様であり、最近では教師の指導もなく児童達に於て五に貯蓄運動に乗り出し成果を収めており修学旅行の費用等も積立てられてゐる。

湯本中學校の記念の植樹

こゝに民主化立法の本質があると思ふ。幸いに渡邊町長は町民の意を得ていることを深く喜ぶものである。我が國と全權一行唱れて歸國されるとき世界を二分する思想樹立は益々劇的に當ると思われる。この秋に於て私共は從つて一九となり民主日本健康な發展に全力を傾注せねばならない。(文責熊谷記者)

求人週報

希望者は平局私書函三十一號へ封書にて申込まれる。本人平市署の調べたところによると石城郡大野村山田小澤の阿部富田郎さん方流暗彦君というらしい、どうです。いいいかのでも食つてみませんか、思いがけない幸運が待つてゐるかも知れませんよ。

社告

渡部武雄
九月五日附を以つて依願退職に付今後本社とは何等關係なく念のためお知らせ致します。九月十一日 磐城日日新聞社

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

井澤販賣所

井澤林産 製材所
企業組合 電話二〇番
小名濱町新川一四 電話一〇四番

ダルマ薬局

小名濱町 電話 222

旅割 鳴美

電話 四七番

ビナス・ルビー

★可愛いルビー色の小粒
★若く美しく元氣にする
★強いホルモンです
★一日一回一粒のむだけ
★注射以上の効果
【二月分三三〇円】

町民待望の殿堂

植田劇場竣工近し

晝夜兼行の共和建設

植田劇場建設は過去三年の懸案として、敷地問題や建築費の不足など、困難に陥っていたが、共和建設工業の高木好一氏の義侠的工事作業により、最近ようやく完成の途に達した。今、町民の待望するこの殿堂が、十月十日に正式に竣工する。この劇場は、町民の文化生活を豊かにし、娯楽の場を提供するものである。建築費は、町民の寄付と共和建設工業の協力で賄われた。劇場の設計は、現代的で、かつ、町に合ったものである。竣工後は、町民の集いの場として、大いに活用されることを見込まれている。

香取丸漁夫拾う

デツキ洗海中に轉落

小名浜町古港二四番主水野良吉氏所有の香取丸は、去る八日午後九時十五分頃、金華山沖二、三哩の沖合を北に向け航行中、流れている男を發見し、救助した。本人は高知縣宇治郡香取町高取丸の船員で、黒原昭好(二〇)といふ同君の話に、山田君は「山で見る幻影」の戀人だと考へるようになった。山田君は、大抵の人は山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。

山で見る幻影

靈に招かれた男

山田君は、大抵の人は山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。山田君は、山が好きで、大抵の人は山が嫌いになる。

住宅の申込殺到

十戸に対して二百を突破

丸通で野球部を編成

小名浜町夜場厚生課で受付中の同町単身の公営住宅申込者は、十日の第一日目は一五七名の申込あり、二日目の朝勤務開始時刻迄に約二百名の申込者が窓口を列を爲す有様で、切迫の事態に陥った。丸通で野球部を編成し、十戸に対して二百を突破した。丸通で野球部を編成し、十戸に対して二百を突破した。

議員と町署の親善野球

十日後四時より植田小学校に於て植田町

議員と町署の親善野球は、十日後四時より植田小学校に於て植田町。議員と町署の親善野球は、十日後四時より植田小学校に於て植田町。議員と町署の親善野球は、十日後四時より植田小学校に於て植田町。

若宮神社の屋根を剝ぐ

小名浜町大字小名原木

若宮神社の屋根を剝ぐ。小名浜町大字小名原木。若宮神社の屋根を剝ぐ。小名浜町大字小名原木。若宮神社の屋根を剝ぐ。小名浜町大字小名原木。

内防波堤の着工式

ケーソンの進水も行う

内防波堤の着工式。ケーソンの進水も行う。内防波堤の着工式。ケーソンの進水も行う。内防波堤の着工式。ケーソンの進水も行う。

三久の一周年行事

謝恩ケリル祭も行

三久の一周年行事。謝恩ケリル祭も行。三久の一周年行事。謝恩ケリル祭も行。三久の一周年行事。謝恩ケリル祭も行。

家出少年

家庭の不和から

家出少年。家庭の不和から。家出少年。家庭の不和から。家出少年。家庭の不和から。

家出(小名浜)

きよ子さん

家出(小名浜)。きよ子さん。家出(小名浜)。きよ子さん。家出(小名浜)。きよ子さん。

魚菜市況

魚市

魚菜市況。魚市。魚菜市況。魚市。魚菜市況。魚市。

西部の挑戦

快漢シスコキッド

西部の挑戦。快漢シスコキッド。西部の挑戦。快漢シスコキッド。西部の挑戦。快漢シスコキッド。

天気概況

魚菜市況

天気概況。魚菜市況。天気概況。魚菜市況。天気概況。魚菜市況。

能率の自轉車
軽く強い 特許防水式
永い信用を誇る 眞の優秀車!
エヌワイ号を...
小名浜港 電話 89番
吉田屋商會

大塚
平駅前大通り
電話 七七
秋のスーツ用具
定評有る大塚の靴
月星 運動靴
各種

印刷ハナガセ
マルサンの正札
新値段より断然安い
需要者の皆様に感謝!
お客様の利益を守るため店員一同協力して居ります
洋品のお買物は
植田のマルサン洋品店へ
電話(植田)143番